



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 アルコニックス株式会社

コード番号 3036 URL <http://www.alconix.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 正木 英逸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務本部長

(氏名) 宮崎 泰

TEL 03-3596-7400

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	129,029	△26.0	2,757	△36.5	2,653	△40.8	1,401	△45.3
24年3月期第3四半期	174,466	49.5	4,344	57.5	4,483	57.9	2,561	37.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,654百万円 (△25.0%) 24年3月期第3四半期 2,205百万円 (25.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	220.57	219.66
24年3月期第3四半期	403.25	400.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	70,601	15,683	21.0
24年3月期	68,600	14,020	19.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 14,803百万円 24年3月期 13,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
25年3月期	—	30.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	△24.8	2,800	△40.3	3,000	△33.3	1,600	△34.7	251.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) UNIVERTICAL HOLDINGS INC. 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,353,200 株	24年3月期	6,353,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	114 株	24年3月期	87 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,353,100 株	24年3月期3Q	6,351,722 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が緩やかに回復を続けた一方、欧州経済はいまだ後退局面にあり、また世界経済の牽引役であった中国は輸出の停滞や金融引き締め策等の影響により減速傾向が続きました。

わが国経済においては、中国市場の冷え込み、及び歴史的な円高状況が続いたことで輸出環境が悪化し、国内主要産業である自動車、半導体、IT産業は実需が冷え込み、総じて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取巻く非鉄金属業界においては、エコカー補助金の終了により秋口以降、自動車向け需要の落ち込みが顕著となり、また半導体・IT産業向け需要も一段と低迷した状態が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループの売上面においては、スマートフォン・タブレット端末向け電子材料等、及び銅屑の取扱いが増加した一方で、家電、IT産業向け銅条等の伸銅品、及び自動車部品向けアルミ再生塊、アルミ製品等の取扱いが減少いたしました。また、レアメタル・レアアースの取扱いは市況の大幅な下落に加え、主要取引先の在庫調整の継続により前年同期比で大きく落ち込みました。一方、利益面においては売上の減少、及び国内連結子会社の収益減に加え、上場株式の時価評価に伴う評価損を特別損失に計上したことから大幅な減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高129,029百万円（前年同期比26.0%減）、営業利益2,757百万円（同36.5%減）、経常利益2,653百万円（同40.8%減）、四半期純利益1,401百万円（同45.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

・軽金属・銅製品事業

当第3四半期におきましては、従前よりの国内の家電、IT産業、半導体分野、大型2輪分野の不振と中国の景気減速に加え、尖閣諸島をめぐる日中間の関係悪化は自動車産業にマイナスの影響となり、軽圧品、伸銅品の取扱いはさらに伸び悩む結果となりました。一方、北海道、東北を中心とした東日本の建設需要は旺盛で、電気から化石燃料への回帰傾向も手伝って建設関連での伸銅品の国内需要は引き続き堅調に推移しました。

この結果、当セグメントにおける売上高は47,470百万円（前年同期比7.6%減）、セグメント利益は655百万円（同22.8%減）となりました。

・電子・機能材事業

電子材料分野では、引き続きスマートフォン、タブレット端末関連材料の取扱いが堅調に伸びた一方、比較的堅調であった車載用電池材料向けニッケルの取扱いはエコカー補助金終了による自動車需要の落ち込みの影響により減少に転じ、また欧州向け化学プラント、船舶用途のチタン・ニッケル製品の輸出取引では、上半期は前年同期に比べ増加したものの、その後は長引く欧州経済の低迷や円高の影響により低調に推移いたしました。さらに中国電力プラント向けチタン製品の輸出取引においても、プロジェクトの安全性の見直しによる延期や日中関係の冷え込み等の影響を受け低迷状態が続きました。

一方、レアメタル・レアアースの分野では、エコカー補助金の終了に伴う自動車関連需要の落ち込み、家電、IT産業向け需要の低迷により取扱いが大幅に減少いたしました。特に前連結会計年度業績に大きく貢献したレアアースの取扱いにおいては、磁性材市場の需要減少、市況の大幅下落に加え、国内主要取引先における在庫調整が継続されていることが影響し、売上、利益共に前年同期に比べ大きく減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は58,717百万円（同40.1%減）、セグメント利益は1,792百万円（同47.6%減）となりました。

・非鉄原料事業

当第3四半期の市況は、アルミ、銅が各々前年同期より17%減・9%減と大きく下落いたしました。また、エコカー補助金の終了に伴う自動車国内生産・販売の反動減などで、期初には堅調であったアルミ輸入再生地金の販売が低調に転じました。化学品用金属珪素は、需要家の在庫調整が期を通じ継続されたことで取扱いが減少いたしました。一方、銅屑、鉄鋼用脱酸材料、軽金属圧延用のマグネシウム地金等の取扱いは堅調に推移し、前年同期比で増加いたしました。全体の落ち込みをカバーするに至らず、当セグメントにおける当第3四半期の売上数量、売上金額は共に前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は19,000百万円（同4.0%減）、セグメント利益は107百万円（同17.7%減）となりました。

・建設・産業資材事業

当第3四半期は、国内の新設住宅着工戸数は前年同期比で増加傾向になったものの、円高継続による輸出産業の不振、復興・復旧需要の遅れ、民間設備投資の低迷等により、建設産業資材・配管機材類の需要は引き続き停滞いたしました。またアジア、中東諸国向け配管機材、及び銅合金素材の海外取引も全体として低調に推移いたしました。利益面では、赤字であった中国ダイカスト事業の合弁事業化による再構築が増益に寄与いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は8,884百万円（同15.9%減）、セグメント利益は90百万円（同8.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

a. 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は56,155百万円であり、前連結会計年度末比6,285百万円の減少となりました。主な内訳は現金及び預金の減少621百万円、受取手形及び売掛金の減少355百万円、及びたな卸資産の減少5,229百万円、であります。

b. 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は14,446百万円であり、前連結会計年度末比8,285百万円の増加となりました。主な内訳は当第3四半期末にUNIVERTICAL CORPORATION他の株式取得に伴い、事務所、生産設備等が当社グループとなったことによる有形固定資産の増加792百万円、及び同グループの株式取得に伴うのれんを含む無形固定資産の増加5,361百万円、並びに持分法適用関連会社株式の取得等に伴う投資その他の資産の増加2,132百万円であります。

c. 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は47,561百万円であり、前連結会計年度末比936百万円の減少となりました。主な内訳は取引の減少に伴う支払手形及び買掛金の減少5,866百万円、未払法人税等の減少1,295百万円、及び1年内返済予定の長期借入金の減少468百万円であり、一方、UNIVERTICAL CORPORATION他の株式取得に伴い、短期借入金は7,177百万円の増加となっております。

d. 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は7,356百万円であり、前連結会計年度末比1,274百万円の増加となりました。主な内訳は流動負債への振替に伴う社債の減少200百万円、及び繰延税金負債の増加1,344百万円であります。

e. 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は15,683百万円であり、前連結会計年度末比1,662百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加988百万円、及び為替換算調整勘定の増加226百万円であります。

② 経営成績

a. 売上高

主な売上高の増加要因は、輸出向け自動車用非鉄金属素材、スマートフォン・タブレット端末等の需要増に伴う電池材料、及び銅スクラップの取扱いであります。一方、主な減少要因は、車載及び家電向け二次電池材料用ニッケル粉末、半導体用伸銅品、自動車部品用アルミ再生塊、化学品用途の金属珪素、及びバルブ・配管材料用途の黄銅棒の輸出取引であります。また、レアメタル・レアアースにおいては市況の大幅な下落、磁性材市場の需要減少、及び取引先における在庫調整の影響が響き、取引が大きく減少したことから、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比26.0%減の129,029百万円となりました。

b. 売上総利益

レアメタル・レアアースを中心に全体的な取扱量の減少、及び通信機器関連や半導体向け需要の落ち込みが影響し、国内連結子会社の収益が減少したことから、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比20.2%減の6,858百万円となりました。

c. 販売費及び一般管理費

一時的な人件費の減少により、当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比3.5%減の4,100百万円となりました。

d. 営業利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比36.5%減の2,757百万円となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

当期に株式取得した中国の持分法適用関連会社の収益見合い部分を持分法投資利益として109百万円計上した一方、当第3四半期中に円安に転じたことにより外貨建決済取引に係る為替差損が発生し、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は104百万円の費用超となりました（前年同期は138百万円の収入）。

f. 経常利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比40.8%減の2,653百万円となりました。

g. 特別利益、特別損失

中国ダイカスト事業の再構築により、ALCONIX DIECAST SUZHOU CO., LTD. を連結子会社から持分法適用関連会社に移行したことに伴う持分変動利益20百万円、及び事業パートナー会社へ同社の株式を一部売却したことにより生じた関係会社株式売却損14百万円をそれぞれ特別損益に計上いたしました。また少額の固定資産売却益を特別利益として計上する一方、保有上場株式の時価下落に伴う減損処理による投資有価証券評価損270百万円、及びその他有価証券の売却に伴う投資有価証券売却損11百万円、事務所移転に伴う費用等5百万円を特別損失に計上いたしました。

h. 四半期純利益

税金等調整前四半期純利益2,367百万円から法人税等910百万円、国内及び海外連結子会社4社における少数株主利益56百万円を差引き、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は前年同期比45.3%減の1,401百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点においては、平成24年10月23日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したUNIVERTICAL HOLDINGS INC.、同社により株式を取得したUNIVERTICAL CORPORATION、UNIVERTICAL CHEMICAL COMPANY、UNIVERTICAL SEMICONDUCTOR PRODUCTS INC. 及びWALKER INVESTMENTS LLC.、さらにUNIVERTICAL CORPORATIONの子会社であるUNIVERTICAL INTERNATIONAL (MAURITIUS) INC.、及びその子会社であるUNIVERTICAL INTERNATIONAL (SUZHOU) CO., LTD. 及びUNIVERTICAL INTERNATIONAL (HONGKONG) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,607	9,986
受取手形及び売掛金	31,778	31,423
商品及び製品	18,617	12,664
仕掛品	57	380
原材料及び貯蔵品	19	418
その他	1,616	1,615
貸倒引当金	△256	△333
流動資産合計	62,440	56,155
固定資産		
有形固定資産	3,224	4,016
無形固定資産		
のれん	14	2,272
その他	287	3,390
無形固定資産合計	301	5,662
投資その他の資産	2,634	4,766
固定資産合計	6,160	14,446
資産合計	68,600	70,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,896	21,030
短期借入金	15,132	22,309
1年内返済予定の長期借入金	2,412	1,944
1年内償還予定の社債	400	400
未払法人税等	1,352	56
賞与引当金	596	332
その他	1,707	1,488
流動負債合計	48,498	47,561
固定負債		
社債	1,400	1,200
長期借入金	3,803	3,854
退職給付引当金	238	267
役員退職慰労引当金	124	154
長期未払金	60	79
その他	455	1,800
固定負債合計	6,082	7,356
負債合計	54,580	54,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,830	2,830
資本剰余金	1,872	1,872
利益剰余金	9,208	10,196
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,912	14,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△41	△10
繰延ヘッジ損益	△41	△100
為替換算調整勘定	△211	15
その他の包括利益累計額合計	△294	△96
新株予約権	43	42
少数株主持分	359	836
純資産合計	14,020	15,683
負債純資産合計	68,600	70,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	174,466	129,029
売上原価	165,874	122,171
売上総利益	8,592	6,858
販売費及び一般管理費	4,247	4,100
営業利益	4,344	2,757
営業外収益		
受取利息	6	9
仕入割引	19	17
受取配当金	41	37
為替差益	322	—
不動産賃貸収入	36	35
持分法による投資利益	—	109
その他	46	50
営業外収益合計	474	259
営業外費用		
支払利息	213	177
売上割引	19	7
為替差損	—	68
手形売却損	38	38
不動産賃貸原価	10	15
その他	53	56
営業外費用合計	335	364
経常利益	4,483	2,653
特別利益		
持分変動利益	—	20
その他	1	1
特別利益合計	1	21
特別損失		
本社移転費用	26	—
投資有価証券評価損	—	270
持分変動損失	8	—
その他	5	36
特別損失合計	40	307
税金等調整前四半期純利益	4,444	2,367
法人税等	1,774	910
少数株主損益調整前四半期純利益	2,670	1,457
少数株主利益	109	56
四半期純利益	2,561	1,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,670	1,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△290	30
繰延ヘッジ損益	△133	△61
為替換算調整勘定	△40	237
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△9
その他の包括利益合計	△464	197
四半期包括利益	2,205	1,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,102	1,599
少数株主に係る四半期包括利益	102	55

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	50,974	96,494	19,309	7,689	174,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	422	1,518	492	2,876	5,310
計	51,396	98,013	19,801	10,565	179,777
セグメント利益	848	3,419	130	83	4,482

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,482
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の経常利益	4,483

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	46,949	56,276	18,495	7,307	129,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	520	2,441	504	1,576	5,043
計	47,470	58,717	19,000	8,884	134,072
セグメント利益	655	1,792	107	90	2,646

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更（1）連結の範囲の重要な変更」に記載のとおり、UNIVERTICAL HOLDINGS INC.他7社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「電子・機能材」セグメントにおいて、2,193百万円増加しております。

なお、当第3四半期連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的情報に基づいて、暫定的な会計処理を行っております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,646
セグメント間取引消去	7
四半期連結損益計算書の経常利益	2,653

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「電子・機能材」セグメントにおいて、「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更（1）連結の範囲の重要な変更」に記載のとおり、UNIVERTICAL HOLDINGS INC. を新たに設立し、同社がUNIVERTICAL CORPORATION他3社の株式を取得したことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においては2,267百万円であります。

なお、当第3四半期連結財務諸表作成時点における入手可能な合理的情報に基づいて、暫定的な会計処理を行っております。